

製品名: IGF-I ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12434

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	IGF1
別名	IBP1; IGF-IA; IGF1A; IGF1; insulin-like growth factor 1; insulin-like growth factor IA; mechano growth factor; MGF; somatomedin C
遺伝子 ID	3479.0
SwissProt ID	P05019
免疫原	抗血清はヒト IGF-I 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 100-149

背景

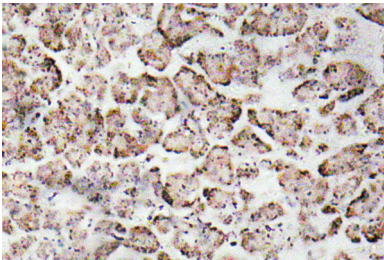
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、機能と構造においてインスリンに類似しており、成長と発達の調節に関与するタン

パク質ファミリーの一員です。コードされているタンパク質は前駆体から処理され、特定の受容体に結合して分泌されます。この遺伝子の欠陥は、インスリン様成長因子I欠乏症の原因となります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成され、これらが同様の処理を受けて成熟タンパク質を生成する可能性があります。[RefSeq 提供、2015年9月]、疾患: IGF1の欠陥はインスリン様成長因子I欠乏症 (IGF1欠乏症) の原因です[MIM:608747]。IGF1欠損症は、成長遅延、感音難聴、精神遅滞を特徴とする常染色体劣性疾患です。機能: 血漿から分離されたインスリン様成長因子は、構造的および機能的にインスリンに関連していますが、はるかに高い成長促進活性を持っています。オンライン情報: インスリン様成長因子1 エントリ、オンライン情報: シンガポールヒト変異および多型データベース、類似性: インスリンファミリーに属します。、

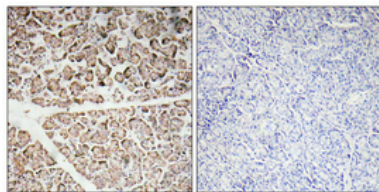
研究分野

卵母細胞減数分裂、p53、mTOR、接着斑、長期抑制、プロゲステロン媒介卵母細胞成熟、アルドステロン調節性ナトリウム再吸収、癌の経路、神経膠腫、前立腺癌、黒色腫、肥大型心筋症 (HCM)、拡張型心筋症、

画像データ



パラフィン包埋ヒト膵臓組織における IGF-1 抗体の免疫組織化学分析。



パラフィン包埋ヒト膵臓の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。